

有村架純の「私のワードローブ空間」

ファッションラバーたちの素敵クローゼット訪問！

ゆっきゅんのステージ衣装部屋／収納アップデート計画

シトウレイのバリコレスナップ／初夏のジュエリー

中島健人／TOMOYA & SO GEON (NEXZ) …and more



A 捨てる行為には抵抗があって、定期的に仲間と一緒にフリマを開いて人に譲っているというパターンが多かったです。

O やはり。そんな中、ひとつ朗報。処分量に適した袋を選び、詰めるだけ詰めて送り返すと寄付につながる「古着deワクチン」(10)を覚えてもらいました。いつでも自発的に使えて、衣替えの時期にも便利。1枚ずつ入れていく作業は手放す労力もより実感できて、次に服を買うとき、本当に必要なかと冷静にもなれる。

I 今後、そのアイテムとどう付き合っていくかまで考える習慣が身につく、素晴らしいサバイブですね。

10 手放すことで社会貢献



専用回収キットを注文し不要になったアイテムを袋に詰めて送るだけ。スタンダードの一口(120着程度で¥3,300)につき、ラオス政府保健省を通じて5人分のポリオワクチンが世界中に届けられる。お試しに¥2,750で約20着から始められるミニミニサイズも。宅配業者と連携しているため、案内に従ってすぐに集荷をお願いできるのも染ちんでうれしい。衣類のほか、バッグや靴、帽子、ジュエリーも入れてOK!
furugidevaccine.etsl.jp